

### 第3回 玉名市都市計画マスタープラン策定委員会 議事概要

#### (1) 策定委員会概要

日時	平成25年1月21日(月)午後2時～
場所	市役所本庁3F 第一委員会室
出席者	<p>委員長：西島 衛治(九州看護福祉大学教授)  副委員長：秋元 一秀(崇城大学准教授)  委員：羽山 眞澄(熊本県建築士会あらたま支部代表)  東 令佐(玉名市農業委員会会長)  松本 重美(玉名市議会建設委員長)  荒木 信義(玉名商工会議所会頭)  西村 敏男(玉名市商工会会長)  谷口 強(玉名市社会福祉協議会事務局長)  東 隆夫(玉名市区長会協議会会長)  徳村 美佳(男女共同参画社会づくり地域リーダー)  井田 浩一(玉名警察署交通課長)  清田 伸也(有明広域行政事務組合消防本部玉名消防署長)  村山 栄一(熊本県玉名地域振興局長)</p> <p>※ 欠席者：2名 福本久美子(九州看護福祉大学教授)  境 あゆり(JAたまな女性部横島支部長)</p> <p>事務局：坂口建設部長  三次課長、松野課長補佐、神永係長、森田主査、森川主任(都市計画課)</p> <p>コンサル：松島(玉野総合コンサルタント株式会社)  ※他、玉名地域振興局随行者1名(土木部技術管理課 竹村主幹)</p> <p style="text-align: right;">※敬称略</p> <p style="text-align: center;">計 21名(委員会メンバー13名、事務局6名、コンサル1名、他1名)</p>
会次第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> <li>2 委員長挨拶</li> <li>3 報告事項  (報告1) 第2回策定委員会について  (報告2) 都市づくりの課題と方針(第2回検討資料)修正対応について</li> <li>4 議事  (議題1) 分野別まちづくり方針について</li> <li>5 その他</li> <li>6 閉会</li> </ol>

(2) 主な意見及び質疑応答

● (報告1) 第2回策定委員会について (報告2) 都市づくりの課題と方針修正対応について

NO	質 疑 ・ 意 見	回 答
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「1次産業の振興に向けた良好な農地の保全・活用」というのは、「水産業の振興に向けた良好な農地の保全・活用」とも捉えられるが、それでも良いのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 「1次産業」の位置づけとしては、「農林漁業」を含めたところで考えている。文案の「農地の保全・活用」の部分「農地及び漁場環境の保全・活用」に修正する。(事務局)</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ (資料3-2p.) 「安全で安心できる暮らしの実現…」という表現があるが、「安心できる暮らし」といった場合、衣食住を含めた広範囲を意味するため、文言の使い方について再度検討していただきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 再度検討する。(事務局)</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ (資料3-2p.) これまで「高潮」による被害はあったのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 確認する。(事務局)</li> </ul>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ (資料3-5p.) 「基本方針の一つとして掲げ…」という表現は不要ではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 再度整理する。(事務局)</li> </ul>
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ (資料3-6p.) 「都市型水害」という表現は玉名市に馴染まないのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 再度整理する。(事務局)</li> </ul>
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ (資料3-6p.) 「行政においては、…、健全な財政運営を図りながら、…」とあるが、健全な財政運営を図ることは当然のことで、あえて表現しなくてもよいのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 再度整理する。(事務局)</li> </ul>
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ (資料3-8p.) 小岱山がミカンの産地ととれる表現になっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 再度整理する。(事務局)</li> </ul>
8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ (資料3-9p.) 「交流拠点」を示す文章に「～として、～として」の表現があり、再考が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 修正する。(事務局)</li> </ul>
9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ (資料3-9p.) JR玉名駅の再整備は、いつ、どこまでの整備を考えているのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 再度整理する。(事務局)</li> </ul>
10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ (第2回議事概要) 定住促進補助事業により移住した世帯が選んだ地域はどこか。</li> <li>・ 市として定住施策を推進するのであれば、紹介できる推奨エリアを確保すべきではないか。</li> <li>・ 受け入れるにあたっての環境整備を進めていくことが重要である。</li> <li>・ 定年後の居住地としての「受け皿」はどのような地域を想定しているのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 定住施策については、地域振興課対応事項であり、担当課と再度検討する。(事務局)</li> </ul>
11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国際的な交流が可能な場が必要ではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ TPPをはじめとした国際的な観点については、本計画においては踏み込んでいない。(事務局)</li> <li>➢ 玉名市総合計画において整理されている分野であり、マスタープランは、総合計画に基づき、都市計画の分野に関して論じていく計画である。(事務局)</li> </ul>

NO	質 疑 ・ 意 見	回 答
12	<ul style="list-style-type: none"> <li>（資料2）の「交流」の中に「新たな交流の促進」とあるが、新庁舎、市民会館においてコンベンション機能等があれば外国との交流等も可能になると思われる。コンベンション機能については、マスタープランの中でどう取り扱われているのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 新庁舎移転等による拠点の移動や拠点としての都市機能などに関する記述については本計画に現時点で示すことが可能な範囲で謡っている。また、市民会館の建て替えについては、現時点では白紙の状態であるが、将来的に「交流」というキーワードの中では重要な施設であるという認識を持っているため、今後、新庁舎機能も含め計画策定までの間に何か進展等があれば、必要に応じて本計画にフィードバックしていきたいと考えている。（事務局）</li> </ul>
13	<ul style="list-style-type: none"> <li>新玉名駅前の駐車場は有料化し、駐車場ビジネスとして雇用を拡大するなど、新幹線を生かしたまちづくりを展開してはどうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 駐車場利用に関する実態調査等を行いながら状況把握を行うとともに、混雑期には警備員や誘導員等を配置するなどの対応を行いながら、当面は無料で運用していきたい。（事務局）</li> </ul>
14	<ul style="list-style-type: none"> <li>報告事項に時間を要しており、時間配分に留意していただきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ -</li> </ul>

●（議題1）分野別まちづくり方針について

NO	質 疑 ・ 意 見	回 答
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>（資料4-2p.）「用途地域内の26.1%の自然的土地利用」とはどういった状況か。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 用途地域内において自然的土地利用をされている農地や山林、水面等の占める割合。</li> <li>➤ 菊池市で22%、宇城市で21.4%という状況であり、玉名市は比較的高い状況にある。（事務局）</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>（資料4-6p.）新玉名駅前の開発にあたり、ネックは原因者負担による発掘調査であり、民間活力を導入するため、市としてどこまで協力できるか検討を進めてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ より良いあり方を検討する。（事務局）</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>（資料4-9p.）定住対策の一環として、「新たな居住地の整備を計画する」という表現を盛り込んでほしい。）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 前向きに検討する。（事務局）</li> </ul>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>（資料4-17p.）「地域防災計画」に位置づける横島グラウンドや天水グラウンドについては、避難所として設定しているのであれば、海抜を確認しておくべきである。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 確認する。（事務局）</li> </ul>
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>（資料4-21p.）新庁舎は防災拠点になるが、ヘリポートは設置されるのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 確認する。（事務局）</li> </ul>
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>（資料4-27p.）市内の地域間において、コンテナ回収へ取り組みに対し地域格差がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 関係課（環境整備課）に確認する。（事務局）</li> </ul>
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>（資料4-17p.）市花である「花しょうぶ」については、毎年、花しょうぶ祭りの時期になると大勢の観光客からの注目を集める植物であるため、市内の公園等へも広げたらどうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ -</li> </ul>

NO	質 疑 ・ 意 見	回 答
8	<ul style="list-style-type: none"> <li>（資料4-21p.）高道地区や鍋地区、横島地区、天水地区は津波を想定した際、危険な地域であるため、海拔の高い公園整備が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ ー</li> </ul>
9	<ul style="list-style-type: none"> <li>（資料4-32p.）「福祉のまちづくり」への取り組みに関しては、何よりもマンパワーの確保が必要不可欠であることから、将来的にボランティア養成などについて、ハード事業と併せて推進するべきである。 （消防署も応援する。）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ ー</li> </ul>
10	<ul style="list-style-type: none"> <li>既成市街地をどうしていくのか、庁舎跡地の活用も含め、具体性を持った記述が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 再度検討する。 （事務局）</li> </ul>
11	<ul style="list-style-type: none"> <li>県が示す「地域固有の資源を利用した都市づくり」という考え方に対し、自然と都市のネットワーク化がマスタープランの中で謳われていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 策定中の地域公共交通連携総合計画との整合を図りながら、マスタープランに記載していく。 （事務局）</li> </ul>
12	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光による外部との交流促進に関してはマスタープランの中で謳われているが、観光地へのアクセス方法、アクセス実態等が整理されていない。</li> </ul>	
13	<ul style="list-style-type: none"> <li>道路計画に関しては、マスタープランの中でハード中心の記載状況にあるが、ハードで追いつかない部分は、コミュニティバス等といったソフト的な対応も必要ではないか。</li> </ul>	
14	<ul style="list-style-type: none"> <li>「広域的な連携」として、荒尾市、長洲町等との都市計画上の連携（道路、区域）が盛り込まれていないがいかがか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 県との協議の中で、都市計画マスタープランに関しては、それぞれの地域の計画であってもよいとの回答をいただいている。また、今回策定するマスタープランが、今後、広域的な連携の考え方に反映されていくものと認識している。 （事務局）</li> <li>➤ 広域的な連携として、ハード的には道路が該当するが、玉名市が他の市町とソフト的にどう連携していくかということも今後検討していく必要があると認識している。（事務局）</li> </ul>
15	<ul style="list-style-type: none"> <li>（資料4-9p.）拠点の整理の仕方として、「中心拠点」→「地域拠点」→「交流拠点」→「観光拠点」→「レクリエーション拠点」の並びがよいのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 修正する。 （事務局）</li> </ul>
16	<ul style="list-style-type: none"> <li>（資料4-14p.）「人にやさしい生活道路の整備」として、街灯などの改善について記載していただきたい。 （築地立願寺線：道路が暗く、死亡事故も発生）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ ご提案ということで承る。 （委員長）</li> </ul>

NO	質 疑 ・ 意 見	回 答
17	<ul style="list-style-type: none"> <li>・（資料４－21p.）荒玉地域の災害拠点病院になっている公立玉名中央病院は、県内で唯一、耐震化の目処がついていない病院であり、マスタープランの中で学校の耐震化について語っているのであれば、病院についても語ってはどうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ ご提案ということで承る。 （委員長）</li> </ul>
18	<ul style="list-style-type: none"> <li>・（資料４－32p.）玉名市地域福祉計画（平成19年度策定）は、5年ごとに見直されていると思うので、更新が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 関係課に確認する。 （事務局）</li> </ul>
19	<ul style="list-style-type: none"> <li>・九州看護福祉大学の活用策として、国際交流の場として利用していただいてもかまわない。大学をなんらかの拠点として位置づけてもよいのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ －</li> </ul>